

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 7 年 8 月 5 日

事業所名 こばんはうすくら 北九州戸畠教室

保護者等数(児童数)23 回収数17 割合 74 %

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14件	1件		2件	・十分です。・教室が広くお庭でのプールも楽しみにしているようです。・何人の子どもが来ているのか分かれば判断できますがあまり分かりません。	基準以上に活動のスペースを確保しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14件			3件	・できれば職員の名簿等があればわかりやすいです。よくしてもらっています。	児童発達支援管理者をはじめ、理学療法士、作業療法士、保育士、児童指導員等の専門職員を配置しております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16件			1件	されています。	児童発達支援と放課後等デイサービスのお部屋が別になっており、また幼児用の手洗いやトイレの設置をしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15件	1件		1件	・十分されています。・見学した際、清潔で片付いていて安心しました。	ありがとうございます。大切な子様をお預かりするため、清潔面や整理整頓を徹底しております。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16件	1件				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16件			1件		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16件			1件		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16件	1件				
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10件		1件	6件		児童館などで交流の機会を設けています。その他保育所や幼稚園との交流の機会を今後設けていこうと思います。
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17件					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	16件		1件			
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9件	1件	3件	4件		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるているか	16件		1件			
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12件	2件	2件	1件		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4件		6件	6件		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16件	1件				
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16件	1件				
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15件	1件		1件		
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	17件					
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8件		1件	8件		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8件			9件		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	17件				最近は自分から行きたいというので予約を増やしています。	ありがとうございます。楽しい活動を通して「できた」をこれからも増やしていくたらと思っております。
	23 事業所の支援に満足しているか	17件				・楽しい行事や作品作りなど手厚い支援に感謝しています。・定期的に面談などを通じて現状を教えていただくなどしてくださると本人に必要なトレーニング・支援などが早めにわかるため助かります。	ご意見をいただきありがとうございます。面談の際はお伝えしておりますが、より細かな支援内容なども共有し、ご家庭で実践していくだけるよう尽力して参ります。

従業者向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7件		・一日の利用定員に対して活動に十分なスペースは確保できている
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7件		・指定基準を尊重した人員配置を配置している
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7件		・情報伝達については、意思表示に課題のあるお子さんに向けて絵カード等のツールや視覚的に分かりやすい掲示を意識している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7件		・食事後、支援中、支援後等掃除を行い、清潔な環境を保てるようしている ・掃除は朝夕行っている。夕方はお子さんと活動の一環として床掃除を行うこともある。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6件	1件	・必要に応じてパーテーション等で区切って対応はしているが、個別対応出来る部屋があると行える専門的なアプローチの幅が広がるので今後検討したい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7件		・職員会議などで話し合いながら、目標設定、振り返りと改善を毎月行っている ・職員会議で行事や支援の振り返りを行い、行っただけで終わらず次に繋がるよう改善策を出すようにしている ・常に朝礼と終礼で職員内で振り返りを行っている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7件		・集計の結果を事務所に掲示し、職員が目を通せるようになっている ・保護者の方へのアンケートから、改善すべき点はすぐの職員で話し合い改善に繋げている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7件		・職員の意見を実践出来る体制になっている ・月に一度職員会議で意見を共有する場はあるが、業務についてその他の場として朝礼や終礼でも話し合う場が設けられている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7件		・本部のSV等が訪問して、教室の環境を評価する機会がある
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7件		・教室での研修の他、外部研修受講等、職員の意見を後押ししてくれる体制になっている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7件		・曜日によってプログラムの内容が偏らないように配慮して作成している ・保護者の方と面談をし、一人一人スモールステップでプログラム(支援計画)を考えている
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7件		・保護者の方と面談をし、一人一人スモールステップでプログラム(支援計画)を考えている
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7件		・職員会議で意見交換を行っている ・児発管を中心に支援に関わる全ての職員が支援計画に携わっている
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7件		・職員会議で意見交換を行っている ・職員会議で個別支援計画を共有し、支援の方向性を確認している ・支援計画に沿って、その日のリーダーの職員が主となって支援内容を考えている
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7件		・定型のアセスメント様式を使用し、日々の行動観察と定期的なアセスメントを行っている。 ・良かった対応、改善の必要がある対応を伝達し、次回の対応に活かしている
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7件		・個別支援計画にて5領域に沿った支援内容を設定し支援に活かしている。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7件		・外出活動やクッキング等の企画を含め、日々の活動プログラムについて、職員会議等で意見を出し合い立案している
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7件		・同じ曜日に同じプログラムが固定しないようにしている ・新しいプログラムを提供したり、季節やお子さんの様子を考慮して固定化しないように工夫している
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7件		・個別活動としてお子さまの発達に合わせて、なぞり書き、シール貼り、洗濯ばさみ等の机上活動や運動などの集団活動を行っている ・集団活動も月齢や発達のレベルに応じて設定している
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7件		・プロトコルで行つごとの確認、その日の利用児の様子や気を付ける点などを話し合っている ・朝礼等でその日のプログラムや流れを共有してから支援に入っている ・朝礼時にどのようなプログラムでどんな活動を行うかをその日のリーダーの職員が伝えるようにしている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7件		・普段と異なる様子のお子さんの情報共有やプログラムの改善点を話して次の支援に繋げている ・プログラムが上手くいったか、なぜ上手くいかなかったのかを話し合い、次回の支援で改善できるようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7件		・専門的支援記録でお子さんの目標に対しての評価を行っている ・業務日報やサービス提供記録として記録に残し、支援の検証・改善につなげている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7件		・半年に一度モニタリングと面談を行い、ご要望や発達の段階等を踏まえたうえで見直しを行っている
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7件		・担当者会議に参加している ・主に児童発達支援管理責任者が参画している。
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7件		・保育所や他事業所との情報共有や、支援に関して必要時に連携を行うようしている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7件		・送迎時に保育園や幼稚園での様子を伺い、事業所での様子をお伝えするなどの連携を図っている ・就園の際にお子さんの事業所での様子・支援内容をお伝えし、就園先も統一した支援になるよう情報提供をしている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7件		・就学の際にお子さんの事業所での様子・支援内容をお伝えし、就園先も統一した支援になるよう情報提供をしている
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6件	1件	・今後積極的に行っていきたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7件		・外出活動や地域活動で公園等に行った際に、一般のお子さんと交流している ・地域活動(清掃)や市民センター、公園等で地域のお子さんと接する機会がある
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7件		・送迎時に事業所での様子を伝えたり、ご家庭での様子を伺うようにしている ・送迎時は必ずその日のお子さんの様子と活動内容を伝え、共通理解を深めようとしている
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7件		・子どもとの関わり方を伝える支援を行っている ・ご興味や必要性のあるご家庭には相談支援・役所への相談をお勧めしている

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7件		・運営規定や負担額などの説明は契約時に必ず説明を行っている ・翌月の支援プログラムや負担額は毎月10日以降にお渡ししている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7件		・面談にて保護者様の思いやお子さまのことをお伺いする機会を設けている
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7件		・必ず同意を得ている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7件		・お悩みやご相談があった際には面談や電話等でお話を伺いしている ・個別支援計画見直し時の面談やお電話で個別にご相談への助言や対応策を考えて支援を行っている
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7件		・事業所内の運動会を開いた際に、保護者同士の交流が出来た ・運動会、餅つきの行事で保護者の方お交流の機会を設けている
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7件		・相談やご意見、ご要望については、児発管、管理者と共有したうえで迅速に対応することを心がけている
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7件		・こばんだよりやインスタグラムで発信している ・InstagramやHUG、こばんだよりで活動の内容などを写真付きで発信している
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7件		・事業所内の個人情報の管理や、他事業所との連携は確認したうえで共有を行うようにしている
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7件		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7件		・お餅つきやハロウィンイベントで地域の方と交流する機会を設けている
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7件		・避難訓練を定期的に実施し、連絡帳にて保護者に周知している
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7件		・避難訓練を欠かさず行っている ・年2回以上必ず避難訓練を行っている
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7件		・服薬変更の連絡があった際には、朝礼や終礼で服薬依頼書とともに共有されている ・てんかんやアレルギーのあるお子さんが通所となる場合は、必ず児発管や管理者から周知がある
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7件		・アレルギー症状が出たときの対応の仕方をすぐに見られるところ（支援の部屋）に掲示している
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7件		・計画に沿った訓練や研修が行われている
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7件		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7件		・ヒヤリハットは終礼で報告し、対策まで話して記録している
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7件		・全職員が必ず研修を受けている
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7件		・契約書や重説で保護者の方にご説明し、職員には研修でやむを得ないと判断出来る状況を周知している